



Improve Quality

# 飛翔

第35号 令和3年3月31日

編集 茨城県商工会青年部連合会

発行 茨城県商工会連合会

水戸市桜川2-2-35

責任者 大森 健一 青年部員数 1,845人  
(R2,9,30)

会長あこがし

## 「格致日新」のスローガンのもと

会長 大森 健一



「格致日新」をスローガンに掲げスタートした第25代茨城県商工会青年部連合会ですが、皆様のご協力により会長職を無事に全うすることが出来ました。ここに改めて感謝申し上げます。

この2年間に振り返りますと、1年目は事業(Business)の向上をテーマに掲げ、部員自社の売上等業績の向上の手助けとなるような事業を展開いたしました。部員研修会において部員の皆様から受講したいテーマをアンケートによりお聞きし、持続化補助金・ものづくり補助金・IT補助金・事業承継の複数テーマを設け、初めての選択型の研修会を実施。また、梶谷先生をお呼びし、今後浸透していくであろう「AI」とAIでは代用できない「地頭力」について学びました。更に、広い目線で多くの意見を取り入れるため、県内単会の部長を一同に会しての部長会議や事務局担当者との対話のための事務局会議など、新しい形式での会議も開催いたしました。そして、任期中において顕彰事業「まちづくり部門」にて、牛久市商工会青年部が見事全国顕彰に輝くなど喜ばしいことも多くあり

ました。

その一方で、近年各地で起きていた自然災害が、当県においても豪雨災害という形で発生し甚大な被害を被ってしまいました。しかしながら皆様のご協力のもと、被災地へ迅速な人的支援・物的支援を行うことができ、復興の一助となることができました。併せて防災マニユアルを見直し、今後の緊急事態に備える準備にも取り組んできました。

そして2年目には、青年部事業(Project)の向上をテーマに掲げ事業を考えておりましたが、未だ終息の見通せないコロナ禍により、多くの県青連事業を中止する決断をせざるをえませんでした。コロナ禍で苦労している部員さんにおかれましては、国や県、各市町村の支援施策をご活用いただき、なんとか耐えていただきたいと思っております。

結びに、また皆で青年部活動ができる日常がいち早く戻る事を願うとともに、ご協力いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。挨拶とさせていただきます。2年間本当にありがとうございました。

## 県内障がい者サッカー 31団体へ競技球を寄贈

県商工会青年部連合会(大森健一会長)は、7月30日地域社会貢献活動の一環として県サッカー協会を通じ、県内で活動する障がい者サッカーの競技団体へ競技球の寄贈を行いました。

例年、当会では、地域の子供たちにスポーツを通じた交流の場を提供することを目的にサッカー大会を開催してき

ましたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮しサッカー大会を中止することとし、代替事業をジュニアサッカー委員会(綿引卓也委員長)

内で検討していました。

委員会で話し合いをしていく中で、県内の障がい者サッカーの現状を知り、障がい者サッカー競技の環境整備に寄与することが出来ればとの思いから、例年の大会開催費を予算に今回の寄贈活動を行うこととなりました。

今回の寄贈活動が障がい者サッカーを知るきっかけになればと願い、今後もこのような状況下だからこそ、青年部宣言、誓いの言葉にもある通り、地域のために活動を行っていきま



事業者支援

実施団体 大子町商工会青年部  
実施期間 令和2年5月16日～  
令和4年3月31日予定

大子町商工会青年部応援事業  
～電話一つで届ける笑顔 守れ!地元の味!～

コロナ禍で売上が減少した部員や町内の飲食店を助けようと大子町の支援を受け「デリバリータクシー事業」を始めました。

事業を開始した5月当初から12月までの配達件数は313件あり、徐々にこの事業が注目されてきています。

日々、部員同士で知恵を出し合い事業を行うことで、部員間の団結力や絆も今まで以上に強くなりました。



各商工会青年部の  
コロナ禍での活動

地域振興

実施団体 常陸太田市商工会青年部  
実施期間 令和3年1月18日

市内各地区の清掃活動の実施

常陸太田市商工会青年部では、今般のコロナ禍において活動が停止していた為“何かできること”はないか、部員同士で模索し、市内4地区(太田・金砂郷・水府・里美)ごとに日程を設け早朝に清掃活動を実施することとなりました。他の3地区についても3月までに実施する予定となっており、地域に根ざした活動をしていきたい。



テイクアウト事業

実施団体 笠間市商工会青年部  
実施期間 令和2年6月10日～7月10日

青年部テイクアウト事業(おうちdeせいねんぶ)

コロナウイルスの影響により、飲食店を訪れるお客様が減少してしまいました。

自粛ムードが続く中、皆様からエールを、そして皆様にエールが届くよう青年部の飲食店と食材業者が協力し合いコラボ弁当を作りました。チラシに100円のクーポンをつけて新聞折込を行い、1ヶ月と短い期間でしたが結果的に参加された飲食店の弁当が合計で1,000個以上売れました。

地域振興

実施団体 茨城町商工会青年部  
実施期間 令和3年3月7日

『きらり子どもあんどん2021』  
～子供たちの想いを照らす～

当商工会青年部(石川実行委員長)は、令和3年2月11日(茨城町民の日)に開催する『行灯事業』の準備をしてきましたが、コロナ感染症の影響で検討「子供達が制作した行灯」の写真や動画を撮影、商工会ホームページに掲載し作品を観賞する無観客での開催としました。コロナ感染症の影響を受け、各事業が中止となりましたが、来年はコロナが収束し子供達が笑顔で行灯が観賞出来ることを一同願っています。



行灯風景(※写真は昨年の様子)

創業支援

実施団体 高萩市商工会青年部  
実施期間 令和2年11月26日

「青年部勉強会」  
アフターコロナ時代を見据え、  
新たなビジネスに果敢にチャレンジ

インド在住の現役ユーチューバー「坪和 寛久」氏を講師に迎え、コロナ禍で青年部活動が制限される中でアフターコロナを見据え、YouTubeを用いた広告の配信方法や仕組みについて研修を行いました。その結果、青年部員がこの研修を契機にYouTube等の配信をする貸スタジオを今年の1月に創業しました。



事業者支援

実施団体 那珂市商工会青年部  
実施期間 令和2年5月～令和2年7月

飲食店PR 青年部員獲得事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている飲食店を商工会の会員、非会員を問わず青年部員の交渉、または事業所からの依頼のあった店舗に対し販促活動を行いました。

(旬楠見材木店と那珂市長が店舗に伺い、食事の様子や店内の風景等を写真撮影し取材を行い、取材内容を那珂市商工会青年部及び



取材の様子

那珂市のFacebookやInstagramのSNSに掲載。SNSを利用した販促の反響は大きく、記事を見て初めてお店に行きました等の声も多々ありました。また、青年部の活動を知って貰う機会ともなり新たな部員獲得にも繋がりました。

事業者支援

実施団体 小美玉市商工会青年部  
実施期間 令和2年4月～現在

おみたまご飯  
テイクアウトプロジェクト



我が商工会青年部は、昨年の緊急事態宣言により一番ダメージを受けている飲食店のサポート事業として「おみたまご飯」というテイクアウトプロジェクトをFacebookで展開してきました。地域活性的視点から部員以外の店舗も対象に行い、参加メンバーは現在も増え続けています。イベント事が中心の青年部でしたが、この逆境の中で違う方向性のサポートの仕方を模索する良い機会になりました。



クラウドファンディング

実施団体 取手市商工会青年部
実施期間 令和2年6月25日～令和2年7月31日

コロナに負けるな!!
クラウドファンディング型地域応援プロジェクト

コロナ禍の中、茨城県内で青年部単体として行う事業として、初めてクラウドファンディングを活用し、地域活性化事業を実施しました。取手市内からの支援が大半でしたが、都内からの支援もあり、幅広い層に取手市商工会青年部と加入部員のPRを行う事が出来ました。支援金額に於いても予定していた目標金額を達成。コロナ禍に於いての新しい青年部活動を模索する事が出来ました。



テイクアウト事業

実施団体 水戸市内原商工会青年部
実施期間 令和2年12月31日まで

テイクアウト利用促進事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、テイクアウトを実施している青年部員の飲食店に対し、容器代等の支給による支援を行いました。また、青年部員の飲食店のテイクアウト用メニュー表を作成し、部員等向けに周知を行い、テイクアウトの利用促進につなげました。

地域振興

実施団体 牛久市商工会青年部
実施期間 令和2年11月3日

家族愛育む
ドライブインシアター

ある部員はお客様との会話で「こういう時にやれるのって青年部だよ」...その期待を多くの部員が感じ取り、ドライブインシアターの実施を決断しました。事前登録制で100台の定員は7時間で完売!当日に検温とアマビエちゃんの登録、出店は電子決済のみで部員が車両まで品物を配達。車両が退場していく際、皆が部員に向けて笑顔でお辞儀しながら帰っていく姿がとても印象的でした。



地域振興

実施団体 城里町商工会青年部
実施期間 令和2年12月～令和3年1月

青年部イルミネーション~光とつなぐ絆と感謝

城里町商工会青年部(綿引卓也部長)は、令和2年12月14日から令和3年1月16日に、災害や長期化している新型コロナウイルス感染症の影響により、活気が失われつつある街をライトアップし地域との絆を深め、感謝の気持ちを込めたイルミネーションを施しました。夜の帳を彩るイルミネーションは幻想的で、見る人々を魅了しました。



テイクアウト事業

実施団体 つくば市商工会青年部
実施期間 令和2年5月2日(土)・3日(日)

つくば市商工会青年部テイクアウト事業

4月の総会後にすぐ、部員に対してのマスク配布及び緊急事態宣言下において苦境にある飲食店を応援する企画として2020年5月2日(土)、3日(日)の2日間に、イオンモールつくばの駐車場の一角でお弁当の販売を行いました。青年部内の飲食店9店舗が参加。アルコール除菌の徹底、ソーシャルディスタンスを取りながらのオペレーションなど不慣れな環境下でしたが、部員の方で完売させることができました。



事業者支援

実施団体 利根町商工会青年部
実施期間 令和2年4月～令和3年12月

青年部視点からの親会事業支援

活動自粛傾向にある中で、新型コロナウイルス感染防止に配慮しつつ、地域商工業発展の一助となるため、下記の活動を実施しました。①テイクアウトチラシの作成・全戸配布と町役場での弁当販売斡旋 ②プレミアム付商品券加盟店の紹介チラシ作成・配布と販売協力 ③利根町空き店舗対策事業での調査協力 青年部の観点で親会事業を支援するといった活動スタイルで利根町商工会としての団結感を出せた1年であったと思います。



地域振興

実施団体 石岡市八郷商工会青年部
実施期間 令和2年6月～現在

スマイルマッチングサイト
#いしおかスマッチ

石岡商工会議所青年部の発案による共催事業で、コロナ禍で外出制限をされて経済活動の停滞、人と人の繋がりが無い今、旧石岡地区、旧八郷地区の垣根を超えたネットに焦点をあてた仮想商店街サイト。各種イベントが中止になるなか、感染防止を徹底して10月25日登録店舗によるフリーマーケットを開催して石岡市を盛り上げました。





地域振興

実施団体 桜川市商工会青年部  
実施期間 令和2年10月18日

### ステイホーム花火プロジェクト ～上を向こう～

桜川市商工会青年部では、新型コロナウイルス感染症の影響により、生活への不安や恐怖に悩んでいる市民の皆様に対し、(一社)笠間青年会議所と共催で「ステイホーム花火プロジェクト～上を向こう～」を実施しました。市内外の166事業所の皆様からのご協賛もあり、桜川市の夜空に308発の花火を打ち上げることができ、市民の皆様へ勇気と感動を届けることができました。



寄贈

実施団体 下妻市商工会青年部  
実施期間 令和2年4月下旬・10月2日

### 青年部員・市教育委員会へ 新型コロナウイルス感染症対策品を寄贈

4月下旬、青年部員に不織布マスクの配布を行い、各家庭・各事業所において感染症対策を促しました。さらに、当時市内の小中学校で体温計が不足しており、非接触型検温計を小学校9校、中学校3校の全クラスに配布できるよう計85台を市教育委員会へ寄贈しました。新型コロナウイルス感染症拡大傾向の中、予定していた青年部事業が行えない状況ではありますが、今後も市と協力し継続した支援を進めていきます。



寄贈

実施団体 八千代町商工会青年部  
実施期間 令和2年9月15日

### 八千代町へ新型コロナ感染症対策品を寄贈

新型コロナ感染防止の為、町内の小中学校や公共施設での活用を願い、対策品として町に消毒液140ℓとフェイスガード480枚の寄贈を行いました。その効果もあってか、数カ月間、町内の感染の抑え込みに成功しています。子ども達の不安を少しでも解消できればと思い実施しましたが、抑え込みの効果を実感し、今後継続した支援が必要だと感じました。



クラウドファンディング

実施団体 常総市商工会青年部  
実施期間 令和2年6月～令和3年2月

### 未来チケット常総

新型コロナウイルス感染症による外出自粛要請によって思うように買い物や外食が出来ない状況を少しでも改善しようと(一社)常総青年会議所と共催で実施しました。市内の飲食店や理美容店などで利用できるチケットをクラウドファンディングで募り、消費喚起に繋げる内容です。その結果、目標金額を大きく上回る支援により多くの利用がなされ、参加事業所の売上の増加やPR活動に貢献することができました。

クラウドファンディング

実施団体 古河市商工会青年部  
実施期間 令和2年3月18日～11月30日  
(クラファン実施期間4/25～5/25)

### 古河市青年3団体による 飲食店応援クラファン事業

新型コロナウイルス感染拡大が顕著になり、街の明かりが消えかけている2020年3月18日、川上部長、八巻直前部長を中心に、「コロナ禍の中、経営者団体としてなにかできることはないだろうか」と青年3団体で会合を設け、「KOGA飲食店応援プロジェクト(クラファン事業)」をスタートしました。(3団体=青年部、古河YEG、古河JC)各実行委員は参加店の募集、クラファン制度の説明、消費者への事業PRと各方面へ奔走し、結果として支援者366名、協賛社26社、総額5,704,000円のご支援があり、参加店55店舗へ分配することができました。本事業は、古河市商工会青年部だけでなく他団体と共同で行うことにより、住みわけもなく古河市全体での支援を行えたことが非常に有意義でした。また、県青連をはじめとする県内青年部員の皆様におかれましても、この事業遂行にあたり多大なるご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りし御礼申し上げます。



テイクアウト事業

実施団体 筑西市商工会青年部  
実施期間 令和2年5月～令和3年2月

### コロナ禍における取組

コロナ禍の取り組みとしまして、緊急事態宣言が発令され飲食店の時短営業等により、まず先に飲食業に影響が出ましたので、ドライブスルーによるテイクアウトやクラウドファンディングを行い支援を募りました。また部員全体のお店を紹介するチラシを作成、新聞折り込みや地域密着情報誌に掲載し、合わせて約10万部の広告をし、仕事面に繋がるよう努力をしました。



クラウドファンディング

実施団体 桜川市商工会青年部  
実施期間 令和2年5月15日～令和2年6月30日  
お買物券の使用期限は令和3年3月31日まで

### 桜川市のお店を 応援しようプロジェクト

桜川市商工会青年部では、コロナウイルスの影響を受けた市内のお店に対し、広く資金を募るクラウドファンディングの手法を活用した経営対策支援を実施しました。149店舗の加盟店に対し、1,440人・32,169,000円の支援金を集めることができ、支援者には支援した金額に3割上乗せしたお買物券、加盟店にはいち早く支援金を届けることで事業継続の支援をすることができました。



広報・情報ネット戦略委員会

役職	氏名	青年部名	役職	氏名	青年部名
委員長	山形和義	北茨城市	委員長	谷津茂	水戸市内原
	鈴木篤	土浦市新治		鈴木正人	行方市
副委員長	齊藤智	筑西市		櫻井惇	龍ヶ崎市